

1. 科目名 (単位数)	心理学統計法/心理統計法 (2単位)	3. 科目番号	EDPS1301
2. 授業担当教員	河合 雅代		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「統計学」を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	心理学を修める上で、統計学の知識は、データを正しく扱い読み取るために必須の教養のひとつである。本講義では、統計学に関する正しい知識を習得するとともに、データを収集し、分析し、結果を読み取る能力を身につけることを目標とする。 本講義は、「統計学」の講義に継続する内容として、実際にデータを収集し、統計ソフト (SPSS) を用いて、「統計学」で習得した記述統計を実施するとともに、各種の統計的仮説検定の実際について学ぶ。		
8. 学習目標	代表的な統計処理について自ら統計ソフト (SPSS) を用いて実践することで、基本的なデータの扱いと読み取り方法を習得する。具体的には、以下の4点を目標とする。 1. 研究目的に合わせたデータを収集し、統計処理を行うことができる。 2. データに合った解析法を選択できる。 3. 選択した解析法を、統計ソフト (SPSS) を使って実施し、結果を読み取ることができる。 4. 解析結果をレポートとして記述する基本的な手順を理解し、説明することができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	毎回、当該のテーマに関するワークシートに取り組み授業の最後にそれを提出する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】岸学 (著)『SPSS によるやさしい統計学 第2版』オーム社、2012年 【参考書】山田剛史・村井潤一郎 (著)『よくわかる心理統計』ミネルヴァ書房、2004年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準： ①研究目的に合わせたデータを収集し、統計処理を行うことができるか ②データに合った解析法を選択できるか ③選択した解析法を、統計ソフト (SPSS) を使って実施し、結果を読み取ることができるか ④解析結果をレポートとして記述する基本的な手順を理解し、説明することができるか ○評定の方法： 受講態度、演習への取り組み、期末レポートから総合的に評価する。 授業への参加・受講態度：30% 課題達成・レポート：40% 小テスト：30%		
12. 受講生へのメッセージ	1. 授業に積極的に参加してください。 2. 正当な理由なく、遅刻、欠席、早退をしないこと。 3. 授業の妨害行為および他者への迷惑行為 (私語、居眠り、携帯の使用、実習やディスカッションへの不参加など) をしないこと。これらの不適切な行為がみられた場合は厳格に対処します。 4. 本科目は数学の授業であり、理解のためには一定以上の集中、努力、予習・復習などが求められます。統計学について真に興味のある者、必要性がある者以外は受講しないでください。単なる単位取得のための科目としては全くおすすすめできません。 5. 本科目は事前学習、事後学習が特に重要になります。これらを行わないと、実質的に授業が成り立ちません。 *なお、授業形態により、他の統計ソフト、もしくは、電卓を使用しての計算となる場合もあります。その際、シラバスの内容を変更することもあります。講義中に説明を行います。		
13. オフィスアワー	オフィスアワーについては最初のガイダンスでお知らせします		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス：オリエンテーション 統計学とはなにかについて考える	事前学習	統計学について調べてくる
		事後学習	授業内容を復習する
第2回	SPSS について：データ入力と分析の方法、Excel とのデータ互換について学ぶ	事前学習	Excel の使い方をおさらいしてくる
		事後学習	復習を行う
第3回	心理学と統計学：心理学における統計学の位置づけ、活用法などについて学ぶ データの要約 (1)：データとは何かについて理解し、さまざまな代表値について学ぶ	事前学習	教科書 pp. 1~22 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第4回	データの要約 (2)：分散と標準偏差、偏差値、標準化について学ぶ	事前学習	参考書 pp. 45~55 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第5回	正規分布の特徴とその利用：正規分布とその利用について学ぶ	事前学習	教科書 pp. 59~76 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第6回	統計的仮説検定：検定の意味と意義について学ぶ	事前学習	教科書 pp. 77~90 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第7回	関係の分析 (1) - 相関係数と無相関検定 1：解析と読み取りの基本手順-	事前学習	教科書 pp. 103~121 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出

第8回	関係の分析(2) - 2×2 のクロス集計表における ϕ 係数の算出と χ^2 検定 -	事前学習	教科書 pp.122~132 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第9回	関係の分析(3) - 2×3 のクロス集計表における V の算出と χ^2 検定後の残差分析 -	事前学習	教科書 pp.122~132 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第10回	差の分析(1) : 対応のない t 検定	事前学習	教科書 pp.151~159 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第11回	差の分析(2) : 対応のある t 検定	事前学習	教科書 pp.151~159 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第12回	差の分析(3) : 対応のない一元配置分散分析と多重比較	事前学習	教科書 pp.160~174 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第13回	差の分析(4) : 対応のない一元配置分散分析と多重比較	事前学習	教科書 pp.160~174 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第14回	差の分析(5) : 対応のある一元配置分散分析と多重比較	事前学習	教科書 pp.175~181 を通読してくる
		事後学習	ワークシートの作成と提出
第15回	まとめ : 各種の分析方法をおさらいする	事前学習	これまでの分析方法をおさらいする
		事後学習	これまでの分析方法をおさらいし、まとめる。ワークシートの作成と提出
期末試験			